

# 青パト 見守り開始

## ヤマウチ、社有車使い



青パトに乗り込み、下校時の巡回に向かうヤマウチの社員ら—高松市松並町、鶴尾小

高松市の鶴尾小学校区で1日、青色防犯パトロールカー（青パト）を使用した見守り活動が始まった。同市の公立小中学校で2学期が始まったこの日、下校時間に合わせて校区内を回り、児童が犯罪や交通事故に巻き込まれないよう見守った。

同校区内の田村町に本社があり、ガソリンスタンド事業などを手がけるヤマウチが、地域貢献活動の一環として学校側に提案。これまで同校区内では青パト活動が行われておらず、学校側も快諾した。

同社の社有車3台を青パトとして使用。一斉下校日となる木曜日の下校時間を

中心に、県警や学校と相談して決めたルートを30分、1時間ほど巡回する。

下校前に同小で出発式が行われ、高松南署員が不審者から身を守るポイントとして「①離れる②断る③大きな声を出す④逃げる⑤伝える」の五つを覚えておいてほしい」と、全校児童約140人に呼びかけた。その後、同社の社員が青パトで巡回に向かい、下校中の児童を見守った。

同社経営管理本部の佐野雅信統括本部長は「児童が安心して生活できるよう、力になれば」と話し、同小の田中義人校長は「青パト活動を通じて子どもたちは安心して帰宅でき、非常にありがたい」と謝辞を述べた。